

## 令和2年度 揖斐川中学校入学式 式 辞

今年は、暖冬からの早い春の訪れに伴い、桜の花もすでに満開を過ぎようとしております。そんな中、なかなか終息を迎えようとしないう新型コロナウィルスの感染拡大の影響から、開催が心配されました令和2年度の揖斐川中学校入学式を、規模及び内容縮小という形ではありますが、本日この場で挙行できますことを、まずは心から喜び合いたいと感じております。

揖斐川中学校へのご入学を迎えられました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

また本日は、揖斐川町教育委員：横山法子様、同じく小林直樹様、本校PTA代表：田島孝二様におかれましては、大変ご多用のところ、ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。高い席からではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、今日から、87名の新入生の皆さんを迎え、総勢291名での揖斐川中学校の歩みがスタートしますが、今年は、新型コロナウイルス感染予防のための臨時休業措置がとられ、3月が丸々お休みになるという、過去に例を見ないような状況の中、いろいろとやり残しがあったり、これからどうなってしまうのだろうかという先が見えない不安も抱えながらの1カ月余りであったのではないのでしょうか。

特に、新入生の皆さんについては、中途半端な状態での小学校生活のピリオド、そして、初めての中学校のスタートという大きな節目における1カ月以上の空白の期間は、さらに不安を増大させたことと思います。そんな皆さんに、ぜひとも紹介したい私の体験談を、今日は準備してきました。

実は私も、小学校卒業直前の1カ月半、学校を休んでいました。もちろん、今の皆さんのように感染症の予防対策などという状況ではなく、その原因は足の骨折です。2月半ばの夕方に、家族には「止めておきなさい」と忠告されながらも、友達と一緒に揖斐川の土手でスキー遊びに出向き、自分の不注意が原因で右足の脛の部分骨折してしまっただけです。そのため、翌日から6年生の残りの日々を自宅療養のため欠席し、卒業式のみ松葉杖をついて出席し、春休み明けの中学校入学式を迎えた私でした。

この時の私は、当然、学校で習えなかった学習内容もありますし、何と言っても、足がまだ不自由な状態で中学校生活がスタートできるのだろうかという大きな不安を抱えていたことは言うまでもありません。でも、そんな中、徐々に回復する右足と共に、一緒にバレーボール部に入部したH君をはじめとする周りの仲間たちの支えや励ましのおかげで、次第に周りの仲間と同じペースで中学校生活を送ることができるようになり、元気に楽しい中学校3年間を過ごすことができました。

私の40数年前の状況とは違って、今回の新型コロナウイルス対策の休校措置の中にいたのは、揖斐川中生全員が対象であり、先ほども言いましたが、全校の皆さんがそれぞれに新年度のスタートに対しての不安を抱えていることと思います。でも、大丈夫です。まずは、ここにはいない2・3年生の皆さんが、2月までの間に仲間と一緒に、この揖斐川中学校の中で歩みながら培ってきた力を活かして無事に休校期間を過ごし、昨日の準備等にもとても前向きに取り組んでくれました。そして、新入生の皆さんも、1カ月以上の空白期間を感じさせないような澁澗とした姿を、今この式場内で見せてくれています。

残念ながら、明日からも約2週間の休校延長措置がとられることとなりましたが、再開後は、3月からの空白期間を埋めるために、全校のみんなで行うべきことがたくさんある4月の後半になると思います。そんな中でも、『みんなで、今、やるべきことを考えながら、自分たちの力で力強く歩みだすことができる令和2年度のスタート』にできるよう、明日からの休校期間で、どんな中学校生活にしたいかをじっくりと考えて、目標をはっきりさせて登校できるように準備してきてください。

今年度は、すでに2・3年生には紹介がしてあって、校長室の前にも掲示してある『自らに問いながら、自らを磨き続ける』ということをテーマに、全校で歩いてほしいと考えています。新入生の皆さんは、2・3年生の先輩たちや、先生たちとも一緒になって、その意味を考えながら、中学生としての力強い歩みを積み上げられるように頑張っていきましょう。

結びになりますが、保護者の皆様におかれましては、あらためて、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日は、小学校の卒業式に続き、在校生不在で、保護者の方々の入場にも制限を設けさせていただくこととなりましたことへのお詫びを申し上げますと同時に、ご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。さらには、今回のコロナウィルス感染拡大の中での休校延長により、ご家庭での健康管理の徹底や、約2週間後の学校再開後には登校前の検温等と、引き続き、何かとご負担をおかけすると同時に、ご協力をお願いすることとなりますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

今日から、大切なお子様をお預かりすることとなりますが、保護者の皆様方からのご支援、ご協力をいただきながら、本校職員一同、一枚岩となって、お子様の命を守り切ることを最優先に、皆様からの大きなご期待に応えられますように、全力を尽くしてまいりたいと心に誓っております。どうぞよろしく願い申し上げます。

以上、令和2年度入学式にあたっての式辞といたします。

令和2年4月7日 揖斐川町立揖斐川中学校長 折戸 克明